

美しが丘

札幌市立美しが丘小学校

学校だより

令和7年9月30日
学力調査結果臨時号



全国学力・学習状況調査の結果について

9月30日で前期が終了しました。子どもたちは、一人一人が学習や行事に一生懸命に取り組み、着実に成長しています。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

さて、4月に実施された「全国学力・学習状況調査」（6年生対象）の本校の結果概要をお知らせいたします。調査を受けた6年生児童の保護者の皆様には、正誤等が記された個人票を個人懇談時に配付いたします。本校においては今回の調査結果を6年生のみの課題としてではなく、本校で6年間学習してきた児童の姿として「学校全体の課題」であると受け止め、今後全学年を通して改善を進めていきたいと考えております。今回の結果をもとに、授業において指導方法を工夫することや、よりきめ細かく家庭・地域と一体となり取り組んでいくことを本校の課題として、引き続き教育改善を図って参りたいと考えております。保護者・地域の皆様には、なお一層のお力添えをお願い申し上げます。

なお、今回の調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

～全国学力・学習状況調査の結果～

【 児童質問紙調査 】

() 内は「はい」の割合

【全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの】

- 人が困っているときは、進んで助けている。(本校 100% 全国94.6%)
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。(本校 90% 全国78.1%)
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫している。(本校92.5% 全国81.7%)
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。(本校 90% 全国86.3%)
- 先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。(本校 95% 全国87.4%)
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。(本校97.5% 全国91.9%)
- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。(本校 95% 全国 80%)
- 国語の授業では、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている。(本校 90% 全国81.8%)
- 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。(本校92.5% 全国82.3%)
- 理科の授業では、問題に対して答えがどのようなになるのか、自分で予想(仮説)を考えている。(本校92.5% 全国85.7%)

【全国と比較して肯定的な回答の割合が低いもの】

- 将来の夢や目標をもっている。(本校 75% 全国83.1%)
- 自分にはよいところがあると思う。(本校82.5% 全国86.9%)
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。(本校 65% 全国70.6%)
- タブレットなどのICT機器で文章を作成できる。(本校 75% 全国81.8%)

札幌市立美しが丘小学校

電話 884-9860 (7:40~17:30) E-Mail utsukushigaoka-e@sapporo-c.ed.jp

FAX 884-0498

HP <https://www.utsukushigaoka-e.sapporo-c.ed.jp/>



【 国 語 】

本校の概要

【内容】

□知識及び技能

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」
全国平均を下回っている。
- ・「情報の扱い方に関する事項」
全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- ・「我が国の言語文化に関する事項」
全国平均を上回っている。

□思考力、判断力、表現力

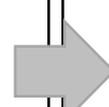
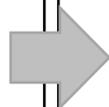
- ・「話すこと・聞くこと」
全国平均を下回っている。
- ・「書くこと」
全国平均を上回っている。
- ・「読むこと」
全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- ◆学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
- ◆原因と結果など情報と情報との関係性について理解すること。
- ◆我が国の言語文化の特質や我が国の文化との関係について理解すること。
- ◆必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること。
- ◆語と語や文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書くこと。
- ◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

今後の方向性

- 感想や振り返りを書く場面等において、漢字を使うことを意識した学習活動の充実。
- 得た情報を分類したり、関係付けたりしながら、自分の考えをまとめていく学習活動の充実。
- 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現を理解するための学習活動の充実。
- 話の目的は何か、相手が伝えたいことは何か等の内容や話し手の意図を踏まえて聞きとる活動の充実。
- 互いの書いた文章の感想や意見を具体的に伝え合い、伝え合ったことを基にして自分の文章のよさを見付けたり、そのよさを言葉で表したりする学習活動の充実。
- 着目した叙述を複数取り上げ、そこから考えられることをまとめる学習活動の充実。



【 算 数 】

本校の概要

今回の調査における課題

今後の方向性

【領域】

「数と計算」

- ・全国平均を下回っている。

「図形」

- ・全国平均とほぼ同程度である。

「測定」

- ・全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

「変化と関係」

- ・全国平均を下回っている。

「データの活用」

- ・全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

◆1の位が0の2つの2位数について、乗法の計算をすること。

◆（ ）を用いた式や加法と乗法の混合した式の場面と関連付けて読み取ること。

◆示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えや式を言葉を用いて記述すること。

◆台形、正方形、正三角形の意味や性質について理解すること。

◆身の回りの量について、その概念及び測定の原理と方法を理解し、実際に測定すること。

◆伴って変わる2つの数量について、表の変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること。

◆比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。

◆「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ること。

○基礎的な計算の反復練習の充実。

○数と計算の意味や仕組みについて理解が深まる学習活動の充実。

○日常生活の問題を解決するために、一つ分、幾つ分の大きさを捉え、式に表したり、式の意味を説明したりする活動の充実。

○示された図形について、見方を働かせ、構成の仕方を考察する活動の充実。

○量の概念を理解し、その大きさの比べ方を見出したり、量の大きさを的確に表現したり比べたりする活動の充実。

○伴って変わる二つの数量を見だし、一方の数量に伴って他方の数量がどのように変化するかに着目して、未知の数量を求める活動の充実。

○割合と基準量、比較量の関係に着目し、必要な条件を求める活動の充実。

○データを集めて分類整理し、目的に応じて観点を決めてグラフや表に表し、データの特徴や傾向をつかみ、問題に対する結論をまとめる活動の充実。

【理科】

本校の概要

【領域】

「エネルギー」を柱とする領域
・全国平均を下回っている。

「粒子」を柱とする領域
・全国平均を上回っている。

「生命」を柱とする領域
・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

「地球」を柱とする領域
・全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

◆身近な自然や現象の性質や働き、規則性などの見方や考え方を構築し、量的・関係的な視点で捉えること。

◆実験結果をもとに多面的に物事を考え、物質の性質についてより妥当な考えを作り出す力を養うこと。

◆生物の観察を通し、成長の様子を把握し、周辺環境との関係について考えをもつこと。

◆地層や天体などについて興味関心を持ち、時間的・空間的な視点で捉えること。

今後の方向性

○実験の結果から得られた性質や働き、規則性などを活用した活動の充実。
○科学の基本的な見方や概念を学ぶための活動の充実。

○物質の仕組みについて、問題を見出し、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する活動の充実。
○観察・実験を通し、より妥当な考えをつくりだし、表現する活動の充実。

○動物の体のつくりと働きについて理解を深めるための観察・実験等の活動の充実。
○植物の体のつくりと働きについての理解を深めるための観察・実験等の活動の充実。

○身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見出すための活動の充実。
○身近な天体の観察を通して、地球の運動について考察し、地球と宇宙についての認識を深める活動の充実。